

## 読売駅伝 中学生専用区間の設置について

宇部市陸上競技協会 強化部

近年、山口読売駅伝大会は地域のスポーツ文化の一環として定着し、多くのランナーが市の代表選手として走る事に憧れを抱いています。それは普段決して走る事ができない国道を走り応援して頂けるというのが醍醐味であるのかもしれませんが。国道を走る駅伝大会は、かつて山口県にも多く存在しました。しかし、安全を確保できない等の理由により、大会は次々となくなり、国道を走る事ができる駅伝大会は山口読売駅伝のみとなり、貴重な大会となっています。

近年、宇部市出身の陸上競技者(長距離)で活躍する選手は多数存在します。山野力選手(神原中→九電工)や松本優哉選手(西岐波中→西京高校)は第一線で活躍する選手へと成長していきました。

今後もこのような有能な選手を多数輩出するため、成長期である中学生の時期に『走る事』の楽しさを感じる事ができ、それに挑戦できる環境を作りたいと強化部は考えています。そこで、国道を走り駅伝の楽しさを味わう事ができる山口読売駅伝の1区(4.2km)を中学生専用区間として設置できればと思っています。中学生専用の駅伝区間を設けることで、彼らの参加意欲を高め、より充実した経験を提供したいと考えています。

### 提案内容

- ・専用区間の設定: 山口読売駅伝1区(4.2km)を中学生専用区間としたい。
- ・コース: 中学生でも走りやすい1区(4.2km)を提案

### 【メリット】

- ・競技への参加意欲の向上: 中学生専用区間を設けることで、市代表選手で走るという責任感、達成感を得る事ができる。
- ・チームワークの醸成:  
チームメイトである社会人や大学生・高校生とともに参加することで、チームワークや違う世代の選手の考えを知ることができる機会を提供します。
- ・地域の活性化:  
中学生専用の区間を設けることで、コミュニティの活性化にも寄与します。
- ・駅伝の開催は3月であり、冬季に駅伝に向けて練習する事は、4月以降良い状態で、トラックシーズンを迎える事ができる。

### 【デメリット】

- ・中学生は、高校大学生社会人と比べると走力は落ちるので、チームとしての力は落ちる。

皆様のご理解を頂ければと思っています。以上